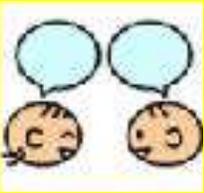
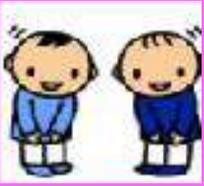


ICT活用の4観点9項目に基づいた指導の実践

観点	Aコミュニケーション支援		B活動支援			C学習支援			D実態把握支援
項目	A1 意思伝達 支援	A2 遠隔コ ミュニ ケーショ ン支援	B1 情報入手 支援	B2 機器操作 支援	B3 時間 支援	C1 教科学習 支援	C2 認知発達 支援	C3 社会生活 支援	D1 実態把握 支援
事例	iPadの文 字入力機能 を使った実 践 	テレビ会 議システムを利用 する取組 	教科書を 読む際に、 読み上げ 音声で内 容を理解 	iPadで写 真を撮る 	授業の 流れを 理解す る 	iPad等の アプリを 利用した 漢字学習 支援 	iPad等を 使いなが ら個々の 学習課題 を支援し た事例 	自分の姿 を振り返 るモニタ リング事 例 	子どもの 意思表出 を記録し て観察す る 

～ 視線で文字を入力する ～



姿勢保持の困難さや上肢の可動域制限等のため、筆記やキーボードやスイッチ等での入力が難しい。

WindowsPC + 24インチモニター
+ 「HeartyLadder(3行パネル版)」
+ 視線入力装置 + 固定具

人生で初めて自分の名前や好きなアーティスト名を文字で綴ることができた。(好きなアーティストにファンレターを送ることが目標)

～ 健康観察カードを届けにきたことを伝える ～



先生の言葉に合わせて声を出
す以外の方法でも、係の仕事
にきたことを伝えられるよう
になってほしい。

視線入力装置＋ノートPC
＋ 固定具

VOCAスライドの絵カードを
よく見て、自分の動きでメッ
セージを再生し、健康観察
カードを届けにきたことを伝
えることができた。

～ 視覚情報を保証する ～



姿勢保持の困難さや上肢の可動域制限のため、本児の視野の中で操作するためには支援者の介助が必要

iPad + Wi-Fiカメラ
+ 固定具

iPadの画面で自分の手元を確認することで、染めた布をすすぐ活動を一人で行うことができた。

～ 視線で好きな「うたのえほん」を操作して音楽を聴く ～



姿勢保持の困難さや上肢の可動域制限のため、本児の好きな「うたのえほん」を再生するには、教師(視線を読み取り、曲のボタンを押す)の介助が必要。

WindowsPC

+「うたのえほん(PPT版)」
+視線入力装置 +固定具

・聴きたい曲を選択し、再生することが本児の視線でできるようになった。

→写真カードを用いた選択場面での意思表示が明確に！

～ iPadで写真を撮る ～

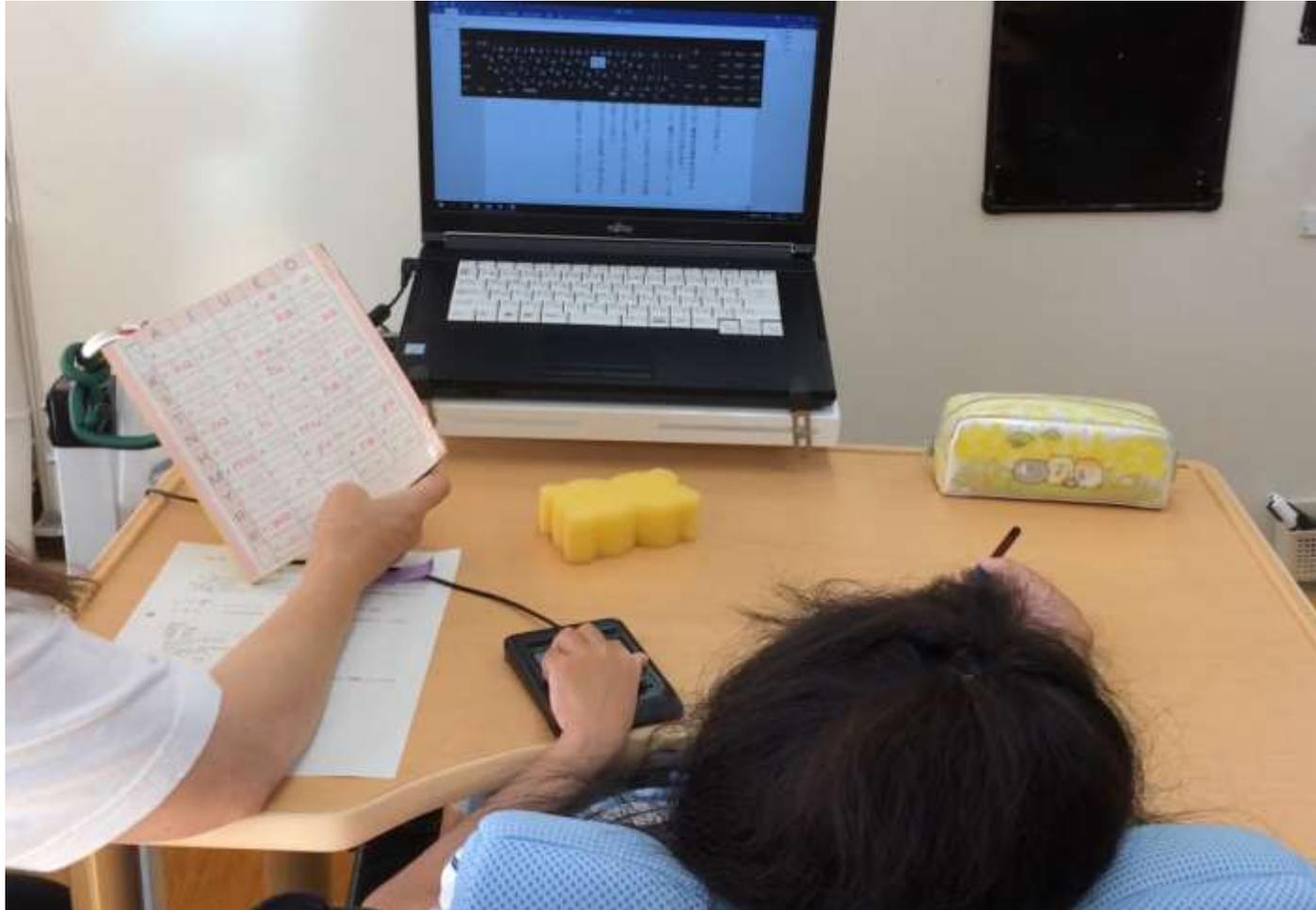


歩行器で校内を移動する中で、出会った人を写真で記録したいがiPadの画面をタップしてシャッターを切るのは難しい。

改造シャッターリモコン
+ 固定具 + スイッチの利用

- ・画面をよく確認してからスイッチを押そうとする姿が増える
- ・歩行器での移動がより目的になる。

～ ローマ字入力で手紙を書く ～



姿勢保持の困難さや上肢の可動域制限のため、通常のキーボード操作が難しい。

「スクリーンキーボード」
+ トラックパッド

ローマ字入力の練習をしながら、お世話になった先生(前籍校)に手紙を書くことができた。
→学校生活での日常的な使用へ